

## 【キーワード】

〔施設種別〕 ■高齢者施設 □障がい者施設 □子ども施設 □住宅 ○  
 〔運営主体〕 □市区町村 ■法人 □NPO □個人 〔補助金〕 □内閣府 ■国土交通省 □厚生労働省 ○  
 〔建物形式〕 □1棟単体型 □複数棟集合型 □団地型 〔建物状況〕 ■新築 □増築 □改修 □一部改修 □既存  
 〔対象者〕 ■高齢者 ■障がい者 □子ども □ファミリー □多世代



写真 1. 外観写真

富山大学附属病院には 33 の診療科と 12 のセンターがあり、それぞれが特色をもった先端医療を行っている。特に、がんゲノム医療、循環器疾患、膵臓・胆道疾患、脳卒中、周産母子、感染症、痛み、糖尿病、災害救命の各センターにおいては、県内の重症患者さんを積極的に受け入れており

## ■施設概要

所在地：富山県富山市杉谷 2 6 3 0

施設種別：診療科

糖尿病代謝・内分泌内科  
 免疫・膠原病内科 呼吸器内科  
 循環器内科 腎・高血圧内科  
 消化器内科 血液内科  
 和漢診療科 脳神経内科（神経内科）  
 感染症科 皮膚科 小児総合内科  
 小児循環器内科 小児発達神経科  
 神経精神科 放射線診断科  
 放射線治療科 心臓血管外科  
 小児循環器外科 呼吸器一般外科  
 消化器外科 乳腺科・内分泌外科  
 小児外科 脳神経外科 脳血管内治療科  
 整形外科 産科婦人科  
 アイセンター（眼科）耳鼻咽喉科  
 泌尿器科 形成再建外科・美容外科  
 麻酔科 顎口腔外科・特殊歯科  
 救急科 総合診療部 臨床腫瘍部

設計：国立大学富山大学施設企画部

敷地面積：63,570m<sup>2</sup>

建築面積：26,518m<sup>2</sup>

延床面積：79,621m<sup>2</sup>

構造・階数：地下一階、地上 7 階

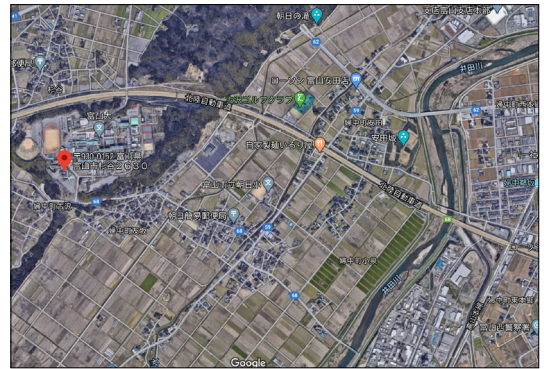


写真 2. 立地周辺（Googlemap より）

富山大学杉谷キャンパス内に所在する大学病院である。富山駅・小杉駅からの路線バス、呉羽駅からのコミュニティバスの圏域に含まれている。

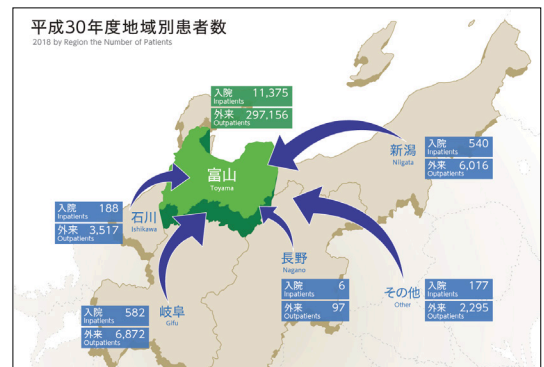


図 1. 平成 30 年度地域別患者（施設パンフレットより）

富山県内の 3 次救急医療機関として機能する。入院患者・外来患者の殆どは富山県内の住民である

参考文献

1) 富山大学附属病院 HP (<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/guide/index.html>)

参照 2020 年 5 月 17 日

2) 富山大学 (<https://www.u-toyama.ac.jp/academics/hospital/index.html>)

参照 2020 年 5 月 17 日

3) 厚生労働省 特定機能病院について (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137801.html>)

参照 2020 年 5 月 17 日

病床数:612 床 (一般 569 床・精神 43 床)

スタッフ人数:医師 397 人

看護職員 741 人

■運営概要

日本を代表する臨床医や臨床研究者が在籍し、地域の医療施設との関連を深めながら、地域住民の保健・医療活動を行っている病院だ。西洋医学だけでなく和漢診療科等による漢方医学での治療も行っている。その背景には、西洋医学と東洋医学の良いところを、最新の方法や

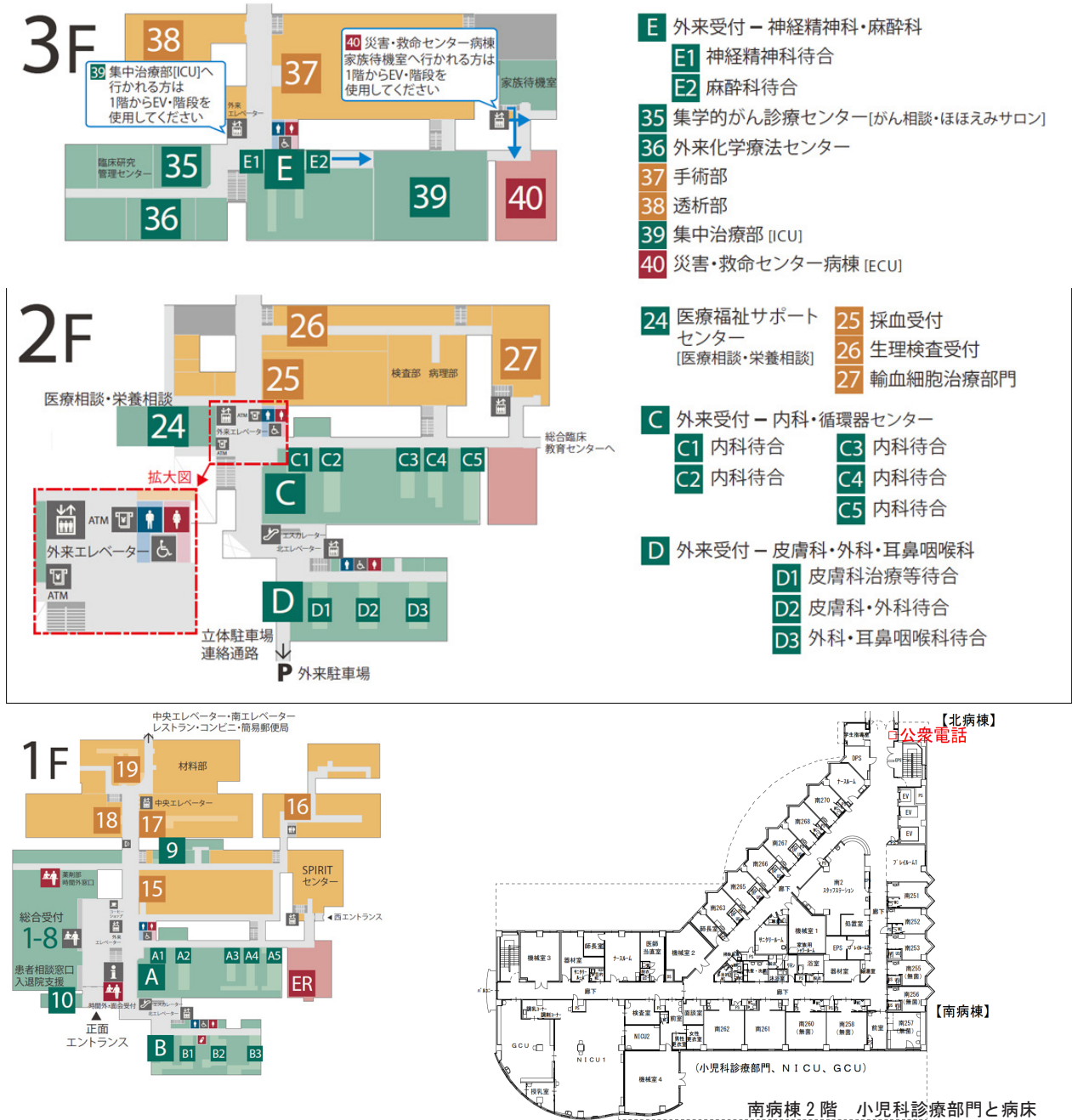


図 2. 各階平面図 (施設 HP、パンフレットより引用)

南病棟小児科診療部門では一般病床 25 床、NICU・GCU の病床 3 床を有している。1 床室、4 床室前にはサニタールームやブレイルーム等の日常と安心を感じさせるための設備が施されている配置となっている。

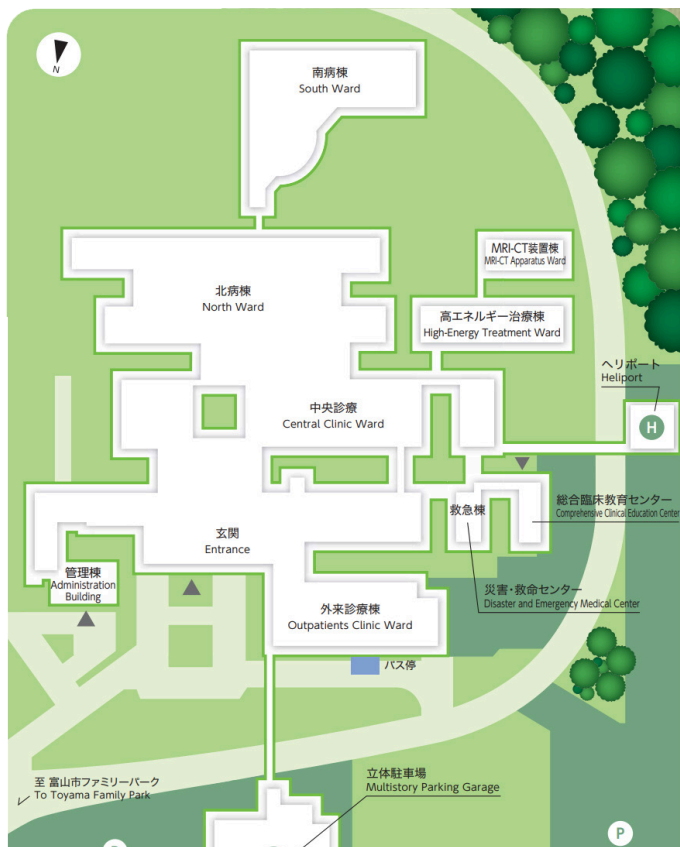


図3. 配置図（施設パンフレットより引用）

技術で深く研究する体制が整えられていることにある。「くすりの富山県」としての伝統を受け継ぎ、生薬の薬効に関する研究も盛んで、産・官・学でフォーラム富山「創薬」という研究会も発足している。医学部、薬学部、和漢医薬学総合研究所と密接な関係を持ち、基礎研究を臨床の場で活かす研究が行われている。

先進医療を提供する「特定機能病院」として厚生労働省の承認を受けている。良質で適切な医療を効果的に行うための医療供給体制を作る目的で、平成4年の医療法の改正により従来の病院区分が見直されて設けられることになった病院区分である。医療施設の機能分担と患者診療の円滑化を図るため、まずは最寄りの開業医や病院で診療を受け、必要があれば紹介状を書いてもらって大学病院などを受診する3次救急医療機関である。つまり、内科、外科など10以上の診療科を有し、病床数は500以上、施設として集中治療室、無菌病室、医薬品情報管理室があって、医師や看護師などは通常の病院の2倍程度という特定機能病院の審査基準を満たしている。

■再整備計画

30年以上、大規模な改修等を行っておらず、患者、地

	南病棟	北病棟			
7階	神経精神科 (43床)	耳鼻咽喉科 (28床) 眼科 (22床)			
6階	整形外科 (51床)	泌尿器科 (30床) 皮膚科 (10床) 歯科口腔外科 (11床)			
5階	第2内科 (42床) 麻酔科 (2床) CCU (6床)	第1外科 (38床) 和漢診療科 (12床)	(循環器総合診療部門)		
4階	第3内科 (51床)	第2外科 (50床)	(がん総合診療部門)		
3階	第1内科 (49床) 感染症 (1床)	産科・婦人科 (40床) MFICU (3床) LDR (1床)	手術部 透析部	神経精神科 麻酔科・ICU (12床) ECU (8床) 外来化学療法C	新外来診療棟
2階	小児科 (28床) NICU (12床) GCU (10床)	脳神経外科 (25床) 神経内科 (18床) 総合診療部・臨床薬学部 (4床) 共通 (6床)	検査部 病理部 輸血・細胞治療部	内科 (1,2,3)・神経内科 総合診療部・感染症科 看護外来	皮膚科・外科 (1,2) 耳鼻咽喉科
1階	コンビニ・レストラン 簡易郵便局・理容室 多目的ホール 卒後臨床研修センター	材料部 光学医療診療部 ME機器管理センター	放射線科 放射線部・リハビリテーション部・経営企画情報部・薬剤部	和漢診療科・整形外科 産科婦人科・脳神経外科 歯科口腔外科 災害救命C・医事G・医療福祉サポートセンター	小児科・眼科・泌尿器科
(地階)			栄養管理室・薬剤部・病理部		

図4. 断面図（施設概要）

増築による南病棟が新設されたことにより、エントランス奥に北、南と病棟が連なる形の病棟として配置されている。



写真3. 南病棟小児科診療部門 スタッフステーション  
円形の形をしたナースステーションである。小児

## 参考文献

4) 富山大学附属病院パンフレット 病院概要 2019  
参照 2020年5月17日

域住民、県内医療機関等からの要望が高く、長年の課題となっていたことから、平成20年から10カ年計画で増改築の整備を行っている。病院再整備計画は、第一期には病棟における療養環境の改善のため6床室を解消し、4床室を中心に個室も大幅に増床した病室構成とする新病棟の増築、第二期には旧病棟の改修及び高機能手術等に対応可能とするための手術室の拡張・改修を既に完了している。第三期には外来診察室等の狭隘化の解消および患者のプライバシー保護のための新外来棟の増築・旧外来棟の改修、中央診療棟の改修を行っている。

## ◆南病棟2階 小児科病棟の様子（見学の記録）

見学日時：2011年5月9日（月）13時～15時半

### ■プレイルームの使用状況

デザイナーさんの意向で、「広く使えるように」柵の寸法等変更され、奥行きが足りず収納できない。絵本も飛び出してしまうので（横版の本）、こどもに当たってしまうと危険である。

また靴を脱ぐときに、手をつくところが足りず、危ない。

・コンセント位置が指定されていたのに、業者の方で指定を守ってくれず、全く足りなかったので一部後付けした。

・柵に登ったりして危ない、ということを心配していたが（以前はそのような行動がみられた）、より「登りやすくなった」今のプレイルームでは、そのような行動はみられない。「遊び」がきちんと保障されるようになったので、柵に登るような遊びをする必要がない。

・一方で新しいプレイルームの設置により、親族が来るのに苦痛がなくなったという。ベッドに座っているよりもプレイルームにいる方が楽ということから、親もプレイルームに出て行きたがるということがあるように思う。

・プレイルームはこどもが遊んでいるところというだけではなく、親も一緒に利用する。そのことについて考えられていない。

・他科のこどもや小学生以下のこどもは病棟に入れないようにし、病棟の入口に工事現場の注意書きのような看板が立ててある。デザインとしては難があると思う。

・病棟プレイルームに、医局に置いてある物品をいろいろもってくるということを計画していたが、ほとんど持って行っていない（収納できない）。しかし、前よりは病棟にいられる時間が増えた。保育準備（物品づくり等）は病棟プレイルームのつくりが広げられる場所となった。

### ■インテリアについて

・こどもっぽすぎる、キャラクターがちすぎると飽きると思い、押さえたデザインにして貰った。

Ex. アンパンマンのカーテン→細い折り込み模様のカーテン（薄いピンク&イエロー系と薄いグリーン&ブルー系が交互になっていて、多床室でも全て同じではない）

・中高生でも、今のキャラクターで違和感はないらしい。

・病室ごとに名札は出していない（個人情報保護）

・消毒用ジェルが置ける場所ができていた

・小児の患者が使うレントゲン室、小児外来にも同様のデザインで装飾が施されていた。

### ■病棟のプラン等について

・個室が多い。病床数が少なくなりすぎた。

・前よりもずっと明るく、気持ちの面で違う。医師の立場から、病棟に入るときの気持ちが違う（落ち込まない）。

・収納場所が増え、ベッドやワゴン、車いす等が病棟廊下に出ているといったことはなくなった

### ■病室について

・病室入り口に手洗い、トイレがついた

・廊下から窓が見える

・全員カーテンは閉まっている

・

### ■環境への意識

・どうしてプレイルームにあまり出てこないのかわからなかった。新しいプレイルームになってみて、使われる様子を見ていて、ただ広い場所ではダメだったということがわかった。

・当初は「こんなハズではなかった」と文句ばかりだったが、数ヶ月経ったところで、ここに合わせてやっていこうと思うようになった。決して広いとは思わないが、よくなっていると思うようにしている。

作成者：榎村